



+1 (プラスワン)、next one ~健やかなる成長~

中間考査がやってきた！！

～あなたの人生、左右するかも～

入学してからはや一ヶ月余り、少し高校生活にも慣れてきたことでしょう。

いろいろな事を自ら考え、学ぶことのできたオリエンテーション合宿。自己を磨くために日々努力を重ねる部活動。様々な場面において、三木北高校生としての自覚が持ててきたことと思います。

さて、楽しかったゴールデンウィークも終わり、いよいよ中間考査がやってきます〔5月18日(金)～23日(水)〕。みんなにとっては、高校生になって初めての定期考査ということで、いろいろと不安に思うこともあるでしょう。そこで皆さんのために、各教科の先生方から、中間考査の勉強方法について心構えを教えてくださいたいと思います。そのアドバイスをもとに、しっかり勉強して定期考査に備えましょう！

勉強心構え (中間考査編)

☆コミュニケーション英語 I (アドバイザー：春田裕子先生)

- ①【事前準備】まず、中間考査の勉強の前に、4月の最初の授業で指示されたとおりにノートが書いているかチェックする。ノートを指示通り書く＝定期考査への備えでもあります。提出日できていなければできるだけ放課後も残ってやってもらいます。
- ②【Vivid】本文を何度も読み、Words&Phrasesに出てきた単語や表現をじゅうぶん確認する。(「読む」と「見る」は違います。しっかり読んでください。) Exerciseを何回も解く。
- ③【Harmony】問題を何回も解きなおしてノートに書く。
- ④【それでも・・・】わからないところはそのままにせず、いつでも質問してくださいね。

☆国語総合 A (①～③)・国語総合 B (④～⑤) (アドバイザー：石原京子先生)

- ①教科書について、本文を読み直す。意味調べのプリントで漢字と難語句の意味を確認する。教科書準拠のプリントも再度、目を通して置く。
- ②『精選速修常用漢字』の4回分の小テストの範囲を確実に読み書きできるようにしておく。
- ③『みるみる実力アップ現代文』の問題1～3をしっかりと読み込み、解答、答え合わせをしておく。
- ④教科書について本文を繰り返し、音読する。主語に気をつけながらも一度自分で現代語訳する。作品名等、作品の文学史上の知識を確認する。教科書準拠のプリントに目を通して置く。
- ⑤『ニューエイジ古典基礎』の問題1～3をしっかりと解答し、現代語訳も確認しておく。

☆数学 I・数学 A (アドバイザー：長浜裕幸先生)

数学 I：中学校で習った展開・因数分解についてはミスなく解けるようにしておくこと。また、たすき掛けは必ずマスターしておき、因数分解をした後は展開して検算する癖をつけておきましょう。3次式の展開と因数分解も覚えておくこと！！

数学 A：部分集合・共通部分・和集合・補集合などの言葉の意味を理解しておき、図の中でもイメージできるようにしておきましょう。また、問題で問われていることは何かに注意して答えを書きましょう。(「集合の要素」と「集合の要素の個数」は違いますよ。)

☆地学基礎・化学基礎 (アドバイザー：居守洋明先生)

- ①地学基礎は、まずはネオパルノートの問題を解きましょう。
- ②まちがえた問題をチェックし、復習しましょう。
- ③教科書の太字で書かれた用語は授業で触れていなくても出すかもしれません。余裕があれば、チェックしておいてください。
- ④化学基礎は、授業で学んだことを復習した上で、ネオパルノートの問題を解いておいてほしいとのこと。

☆家庭基礎 (アドバイザー：河合いずみ先生)

- ①授業では教科書はほとんど読まなかったのですが、テストでは文章で出すこともあるので、教科書を読み、プリントを見返しておきましょう。
- ②自分の考えを持ち、なぜそう考えるのか理由を説明できるようにしましょう。
- ③家庭基礎は暗記です。勉強しないと絶対に覚えられません。副教科だからと手を抜かず、早めに対策してください。

☆現代社会 (アドバイザー：奥野秀樹先生)

- ①教科書・補充プリントを何度も読むこと。(特に太字や注釈、赤線部分などは念入りに確認。)
- ②教科書準拠プリントで内容をまとめること。ステップアップ問題もやっておくこと。
- ③テーマ別資料集の写真・図・解説などをみっておくこと。
- ④授業中に指摘された重要な箇所や語句、概念などをしっかりと意味をつかんで把握しておくこと。(ノートで補足したり、具体例もいえるように！)
- ⑤新聞・テレビなどの利用。(ニュース、特集番組などを普段からよく見ておくこと。)

【金言・名言1】 学問に王道なし！！

There is no royal road to learning. —Euclid

—ユークリッド？(紀元前3世紀？— 古代ギリシアの数学者・天文学者)

平行線公理でおなじみのユークリッド幾何学を大成したこの数学者は、アレクサンドリアの王様プトレマイオス I 世に「どのようにしたら、そちのように勉強できるのじゃ？」と問われて、冷たく一言「学問に王道はございません。」と言い放ったそうです。あるいは、少し前の時代のアリストテレスも幼少時のアレクサンダー(後の大王)の教育係として、同じ戒めをしたかもしれません。

楽をして得をする方法など、勉強にはありません。

日々努力を惜しまず、前進あるのみ。がんばれ、36回生！